

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 7 年 7 月 15 日



豊中ロータリークラブ

第 3050 例会

第 2644 号

よいことのために
手を取り合おう

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2025~26 年度

国際ロータリー会長

フランチェスコ・アレツォ
(イタリア、ラゲーザ RC)

Rotary

Toyonaka



2025.7~2026.6

会 長 松本 悟
副 会 長 矢口正登
幹 事 藤田充男
雑誌・広報・会報委員長
都井正剛

本日 (7 月 15 日) のプログラム

「新年度運営方針」

職業奉仕委員長：松山辰男
社会奉仕委員長：矢野 昭
国際奉仕委員長：武枝敏之
青少年奉仕委員長：岩本洋子



次回 (8 月 5 日) のプログラム

「2040 年問題について」

一般社団法人 豊中市介護保険
事業者連絡会 代表理事
村上 功様

卓話担当：古澤伸之

会長の時間

「引き続き自己紹介です」

2025-26 年度 会長 松本 悟

大学卒業後、大阪大学第二内科に入局しました。第二内科は、病気だけを診るのではなく、病に悩む患者さんに寄り添い、総合的に診療することをモットーにする科ということで選びました。松山会員はその医局の大先輩にあたります。大学病院での研修の後、市立泉佐野病院～在職中にりんくう総合医療センター～で内科業務をしていく中で、循環器内科を専門にすることにしました。

数年間の臨床経験の後、多くの者は大学に戻って研究生活に入るのが常でしたが、臨床業務を希望したことで、1998 年から市立豊中病院に転勤となりました。これは私が希望した訳でもなく、まったくの医局人事で、やはり豊中という地に何かの縁を感じました。

当時は木村名誉会員が院長の最終年でした。松山会員は副院長で、その後に院長になられ、そのもとで数年間、仕事をしました。

専門は循環器内科でした。急性心筋梗塞、狭心症、そして心不全等の診療です。冠動脈へのカテーテル治療や、救急・集中治療を中心に診療を行いました。内科診療の中では、緊急度や重症度の高い分野で、体力的に大変な分野でしたが、ダイナミックに変動する病態と全身を管理するという点で、やりがいを感じて従事していました。

2013 年から、縁があって豊中平成病院で勤務するようになりました。医療内容は、まったく変わり、高齢者を中心とする慢性期医療で、総合内科的な診療です。高齢化がいよいよ進んでいく日本社会の荒波を感じたいという思いから異動しましたが、まさしく今、荒波の中で、もがいております。

その病院で院長職を務めるようになり、このロータリークラブに推薦して頂き入会致しました。

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事務局：9 時～15 時(土日祝を除く)

HP アドレス：<https://toyonaka-rc.jp>

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

☆出席報告☆

	第3049回	第3046回
例会日	7月5日 ガバナー公式訪問	6月21日
① 会員数 A (内出席免除者)	27 6	29 6
② 出席義務者数	21	23
③ 出席義務者出席数	9	13
④ 出席免除者出席数	2	3
⑤ メイクアップ数		3
⑥ 出席義務者欠席数	12	10
出席率 %	47.83%	73.08%

出席率(3049回) ③+④/②+④ 出席率(3046回) ③+④+⑤/②+④

☞幹事報告☞

- ・国際ロータリー第2660地区より
「2025-26年度 ガバナー公式訪問合同例会 御礼状」が届きました。
- ・米山記念奨学会より
「2025-2026年度 上期普通寄付金のお願い」が届きました。
- ・豊中市都市活力部魅力創造課(姉妹都市担当)より
「第4回国際交流プログラム準備チームの開催について」が届きました。

☞掲示板☞

- ・2025-26年度 新年度運営方針
日時：2025年7月15日(火) 本日例会時
職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕各委員長による卓話
- ・米山委員長・カウンセラー研修会
日時：2025年7月26日(土) 13:30~16:00
場所：大阪YMCA国際文化センター 2階ホール
- ・第2回定例理事会
日時：2025年8月5日(火) 例会終了後
場所：ホテルアイボリー 例会場
- ・青少年奉仕合同委員長会議
日時：2025年8月30日(土) 13:30~16:30
場所：大阪YMCA国際文化センター 2階ホール

【関西米山学友会40周年記念式典&総会】

2025年7月6日(日) 関西米山学友会40周年記念式典に参加いたしました。

会長 松本 悟、前年度会長 眞下 節
米山委員長 村司辰朗、
米山カウンセラー 宮田幹二、
国際奉仕委員長 武枝敏之

☞豊中市社会を明るくする運動☞

2025年7月1日(火) 16:30から豊中市“社会を明るくする運動に”参加してきました。当日は大変蒸し暑かったのですが道行く方々に“社会を明るくする運動”を呼びかけるティッシュを配ってきました。

2025-26年度 幹事 藤田充男
国際奉仕委員長 武枝敏之



☞新旧理事役員懇談会☞

2025年7月5日(土) 18:00から、ホテルプラザオーサカにて新旧理事役員懇談会を開催いたしました。

2024-25年度会長 眞下 節
一年間の皆様のご協力に感謝申し上げます。

2025-26年度会長 松本 悟
今年度もよろしくお願い致します。

☞ガバナー公式訪問 合同例会☞

2025年7月8日(火) ザ・リッツカールトン大阪でのガバナー公式訪問合同例会に参加いたしました。当日の参加者は11名でした。皆様のご協力に感謝いたします。

2025-26年度 会長 松本 悟
副会長 矢口正登
幹事 藤田充男



吉川ガバナーと共に

参加者
澤木、村司、米田
矢口、松山、武枝
眞下、宮田、松本
藤田、矢吹各会員
以上11名

2025-26 年度 ガバナー公式訪問合同例会 御礼状

ガバナー 吉川 健之



拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は地区ロータリー活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたびのガバナー公式訪問に際しましては、例会日が同じ曜日の 11 クラブの合同例会という新たな取り組みにご理解とご参加を賜り、誠にありがとうございました。例会提供クラブである大阪梅田 RC の皆様のお心遣いのご配慮、そして参加くださった各ロータリークラブの皆様のおかげで、この合同例会がクラブの枠を超えた交流の場となり、大変有意義な時間を過ごすことができました。皆様に心より感謝申し上げます。

2025-26 年度の RI 会長メッセージは「UNITE FOR GOOD – よいことのために手を取り合おう」です。このテーマのもと、私たち第 2660 地区のロータリアンが奉仕と交流を通じてさらに強くつながり合い、地域や世界に貢献できるよう、そしてロータリーを愉しめるよう、地区としても取り組んでまいります。何卒引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
世界が大きな変化の中にある今だからこそ、互いに手を取りあい、善きことを共に成し遂げるロータリーの力が求められています。皆様と共に、多くの『よいこと』を生み出していける一年となることを願っております。
末筆ながら、貴クラブのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。
敬具

2025-26 年度 ガバナー公式訪問合同例会 ガバナー卓話

今年度ガバナーを拝命しております吉川健之です。
本年度のガバナー公式訪問は合同例会方式を中心に行っております。
お忙しい中、多くの方にご出席いただき、誠にありがとうございます。
また、例会場提供クラブには準備および本日の運営に対し、多大なるご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

先月、RI 会長エレクトの予期せぬ辞任劇があり、改めてフランチェスコ・アレッツォ氏が就任されました。カルガリー国際大会でもご挨拶させていただきましたが、大変温厚な方とお見受けしました。
さて、第 2660 地区の 2025-26 年の活動スタンスを伝えさせていただきます。

Enjoy Rotary through learning & personal exchanges.

学びと交流を通してロータリーを楽しもう。

今やらなければいけないことは、クラブの活性化、すなわち地区の活性化です。

そしてキーワードを 2 つご紹介いたします。温故創新、そして交流であります。

ロータリー 100 年を超える歴史があります。伝統と歴史から学ぶものもとても多くあります。そうしたところから、ロータリーのど真ん中にあるもの、思いや考えをしっかりと学びながらも、今の時代にふさわしい行動様式や、一部、思考パターンも変えていかなければ、環境変化に対応できないことは明らかです。デジタルの活用も積極的に進めていきたい。バーチャルとリアル融合の機会も作っていききたいと思っております。新たな斬新なスタイルにもしっかりと取り組んでいきたいということでもあります。

過去にロータリー RI 会長は、変化にというキーワードでもって様々なメッセージを発信されています。

- ・ MAKING A DIFFERENCE 変化をもたらす。
- ・ ロータリーの変革と成長の機会に目を向ける。
- ・ 継続と変化のバランスをとることの重要性。

常に変化や革新が求められてきました。変化を行動に移すには勇気が要ります。つまりくことも失敗することもあります。ただ、そうした果敢な挑戦や経験が次なる成果につながると信じています。

皆さんと一緒に、ぜひチャレンジをしていきたい。そしてチェンジしていかねばいけない。行動方針であります「より大きなインパクトをもたらす」「適応力を高める」という意味においてもあります。温故創新の精神で存分にチャレンジ・チェンジしていきたい。

次に、交流についてであります。

地区内において新たな交流の機会を創出していききたいと考えています。クラブの活性化も目指さなければなりません。

私は、地区への経験・出向が全くなかったものですから、地区を知るため、ガバナーノミニーの時に 78 クラブを回らせていただきました。

皆さん方には本当に温かくお迎えいただきました。「まだ来るのは早いんじゃないですか？」みたいなことも言われました。温かくガバナーになることを迎え入れていただいて、本当に感謝しています。回りながら、いろんなことを考える良い機会になりました。

今年度から交流活性化委員会を新設させていただきます。
異なるクラブ同士が、それぞれの奉仕活動や趣味などを通して交流をする。そしてクラブのみならず、地区全体で交流が活性化する。そうすることで、ロータリーの会員であることの楽しさ、価値が増していく、ということで、地区全体が活性化することを願っています。
地区における親睦・交流を交流活性化委員会が主催するものではありません。あくまでバックアップしていくということでありませぬ。

「SPORT FOR TOMORROW」というのは、タンザニアで私が知った言葉であります。外務省所管の「草の根文化無償協力資金」というものがあります。スポーツを通して地域、国の発展に寄与する。スポーツに関わる青少年の育成に寄与する。そうして将来の成長を支える人づくりをする。我々もその一端に参加させていただいて、甲子園スタジアムが立ち上がることになったわけです。
地区においても、スポーツを通して、FOR TOMORROW、すなわち明日のロータリーを活性化するための仕掛けにできないだろうかということでもあります。
スポーツや趣味を通して、仲間、先輩、後輩といったつながりによってロータリーの入会促進にもつながります。退会防止にもなる。そうした交流活動を積極的に進めていくサポートをしたいということでもあります。

娯楽だけでなく、奉仕活動でも地区における繋がりを生む機会をつくっていきたいと思っております。

地区内では囲碁大会を開催したいと思っております。また、さまざまな同好会活動を、新たにつくった地区のウェブサイトでも共有していきたい。

さらには、ボウリング大会も開催したい。参加することでポリオ活動や子ども食堂への支援にしていく形にしたいと考えております。地区内には子ども食堂支援を行っているクラブが多くあります。

以上を踏まえ、地区の年次目標は以下の通りであります。

「より大きなインパクトをもたらす。」当地区は補助金の活用度合いが全国の中でもトップクラスだと財団委員の方からレクチャーを受けました。より早く、自発的に大きなインパクトを呼ぶ、小さなことでもいいですから、財団補助金を使った活動を目の前で、喜びを共有できるような補助金であれば、なお素晴らしいなと思っております。そうして奉仕活動がインパクトにつながるようなことが実現できればいいなと思っております。

財団寄付目標であります、年次寄付目標：150ドル、ポリオプラス：50ドル、恒久基金寄付：30ドル。ローターアクトクラブにも100ドルが求められていますのでぜひお願いします。

参加者の基盤を広げるといえることは、衛星クラブの新たな立ち上げや新クラブ立ち上げにチャレンジしていただきたいなと思っております。そうして積極的な交流を促進するための合同例会の機会も増やしていただきたいと思っております。交流によるクラブの活性化を促進してほしいという思いであります。

そして My Rotary への登録。My Rotary の登録率は上がってきていますけれども、クラブごとにまだ格差があります。登録いただければ様々な引き出しがそこにはあります。ぜひ My Rotary の登録を進めていただきたいと思っております。

本年度の RI 会長メッセージは、「よいことのために手を取り合おう」です。

去る7月6日、米山学友会40周年の総会に参加してきました。学びを通じて多くのロータリアンとの交流に価値があると感じました。卒業後もロータリーとの繋がりをうまく活用しています。

また、6月にインターアクトクラブの認証校を訪問してきました。昨年度の活動が各生徒に印象深く残っている様子でした。なんとかこれも継続・拡大していきたい。

いいものを準備すれば参加は広がるということです。

とはいえ、奉仕活動を充実させるには会員数が必要です。残念ながら地区の会員数は右肩下がり。会員増強が求められるわけです。

そのための交流活性化への取組みになります。

地区内の会員を知る機会となる、ガバナー月信の「地区内ロータリアンご紹介」へもぜひ協力いただきたい。

8月1日には大阪・関西万博でテーマウィーク「平和と人権」に当地区が参加します。地区のウェブサイトから視聴登録もお願いしたい。

お願いばかりになりましたが、何とかしてクラブと地区を盛り上げていきたいと思っております。一年間よろしく願い申し上げます。

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 吉川 健之

☞新年度運営方針☞



2025-26年度 会長 松本 悟

今年度の国際ロータリーの会長は、ブラジル、サンパウロのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏から急きよ、イタリアのラゲーザ RC のフランチェスコ・アレツォ氏に変更されスタートしました。ただ、今年度のスローガン「UNITE FOR GOOD（よいことにために手を取りあおう）」は変わりなく、地域や国境を越えて団結し、善意と奉仕の心をもって行動することへの強い期待が込められたフレーズです。

2660 地区のガバナーは、大阪北ロータリークラブの吉川健之（よしかわ たけし）氏で、3つ重点課題を掲げています。

第一に、「学びと交流を通じてロータリーを愉しもう」。ロータリーの魅力は、人と人との出会い、そして、そこから生まれる気づきと成長。クラブ内外での対話を重ねて、新たな仲間を迎え入れることで、より活力のあるロータリーを築いてゆこう、とのことです。

第二に、「温故創新」。長い歴史と伝統の中で培われてきたロータリーの精神を大切にしつつ、時代にふさわしいスタイルを柔軟に取り入れてゆこう、というチャレンジ精神です。ぜひ何か新たな取り組みを試みて欲しい、とのメッセージです。

そして第三に、「交流」。今年度は大阪・関西万博の開幕とともに始まる特別な一年です。この大きな機会を生かし、国内外との交流をより一層深めてゆきたいとの思いです。2660 地区内では、地域のクラブを越えた交流をめざし、その機会を増やしてゆきたいとのことです。その活動の一つとして、複数の地域クラブ合同例会方式のガバナー公式訪問があります。

また、地区クラブ内での交流を目的に、地区大会に併せて、この秋にはボウリング大会・囲碁大会が催されていますので、豊中ロータリーからも積極的に参加してゆきたいと思います。さらに、2660 地区内では、グルメ、囲碁、野球、ゴルフ等様々な同好会活動を立ち上げられていますので、ご興味のある方は参加されては如何でしょうか。

豊中ロータリークラブでの活動方針は、こうしたテーマを受けつつも、僕自身は、まずは先輩方が例年続けてきた奉仕・交流活動をしっかりと継続させねばならないと考えています。

ポリオ根絶を目指し、奉仕活動に貢献できる補助金を獲得するための RI 財団への寄付、米山奨学生への支援、大阪大学の奨学生支援、海外の病院へ寄付、豊中市の美術展、環境展などの催しへの協賛、障害者施設への支援、出前授業や他クラブとの連携シンポジウムでの講演等々の奉仕活動です。

会員交流の場としては、例会は月2回程度となりますが、年末や春の家族会、新年互例会、ゴルフ懇親会等を継続するつもりですが、この他にも、交流の場を何らかの形で行うつもりです。

そして、会長セミナー等で頻回に耳にするのは、会員増強のテーマです。世界中のどのクラブでも問題であるようで、当クラブでも喫緊の問題です。何か良い手立て、面白い試み・アイデアを賜りながら、新たなことを始めたいと思っております。たとえ今期に実践できなくても、語り合っただけで、新たなモノが生まれて、次期に繋げてゆく継続性も大切なことと思っています。いろいろと話かけて頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

新年度運営方針



2025-26 年度 副会長 矢口正登

「クラブ奉仕」はロータリーの五大奉仕部門の第一部門です他に職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕があります。ロータリアンがクラブを円滑に機能させるためにクラブの会合に出席する事、クラブの親睦に参加する事、クラブのプログラムに参加する事などを実施します。これを企業社会に例えてみますと、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕は営業を担当する部門であり、クラブ奉仕はその営業部門を支える管理部門に相当すると言えるのではないのでしょうか。企業では営業部門・と管理部門がお互いに支え合いながら、企業としての最大の成果が得られるように、運営を図っていきますが、ロータリーにおいても「クラブ奉仕」部門には同じ様な役割が期待されています。当クラブの「クラブ奉仕」部門では①職業分類・会員選考②会員増強③親睦（受付・唱歌・家族会・ゴルフを含む）④雑誌・広報・会報（公共イメージ向上）（ホームページ・インスタグラムを含む）がありクラブ管理を担っています。効果的なクラブになるための運営の柱としてクラブ管理・奉仕プロジェクト（職業・社会・国際・青少年奉仕）ロータリー財団・ロータリー情報・研修・米山記念奨学・行動計画推進・クラブ史編集・規定細則・70周年記念事業各委員会があげられています。しかし特に差し迫って重要なのは会員増強ではないのでしょうか。

会員皆様の御協力をお願いいたします。

新年度運営方針



2025-26 年度 幹事 藤田 充男

今年度幹事として社会奉仕委員長・国際奉仕委員長・地区財団委員の体験を生かし実務を具体的に活動していきたい。①クラブ内外・松本会長・クラブ運営サポート②会員増強③一般会計・奉仕会計の資金管理④HPの活用化⑤70周年記念事業の準備委員会立上げ活性化を行ってきたい。

また地域に密着した奉仕活動・交流の場に参加し豊中ロータリークラブの活動をアピールしていきたい。経験豊富な皆様のご意見を頂きまたご協力を得ながら改革したいと思えます。宜しくお願いいたします。

唱歌 海

作詞：林 柳波 作曲：井上武士

うみは ひろいな
おおきいな
つきが のぼるし
ひがしむ

唱歌担当：古澤 伸之



うみは おおなみ
あおい なみ
ゆれて どこまで
つづくやら

うみに おふねを
うかばせて
いって みたいな
よそのくに

